

市内児童生徒数の推移と見込み

適正な学校規模や学区の在り方の検討を始めます

問教育総務課 ☎21・2360 FAX23・0881

教育委員会は、市内小・中学校の児童生徒数の過去10年間の推移と、令和8（2026）年度までの児童生徒数の見込みをまとめました。

急速な子どもの減少を踏まえ、児童生徒にとって望ましい学習環境を提供することを第一に考えながら、適正な学校規模や学区の在り方を早急に検討していきます。

1 児童生徒数の推移と見込み

小学校 (人)

年度 学校名	平成22 (2010)	令和2 (2020)	令和8 (2026)
柏崎	446	412	291
比角	583	532	473
枇杷島	299	258	255
半田	418	328	331
大洲	142	82	60
剣野	328	351	311
鯨波	77	28	36
榎原	240	176	171
日吉	182	151	116
荒浜	297	211	168
新道	279	187	123
田尻	507	425	391
北鯖石	163	108	94
中通	58	45	31
米山	41	27	11
鯖石	87	41	40
北条	132	88	69
高柳	57	12	12
二田	142	143	86
内郷	88	54	58
計	4,566	3,659	3,127

中学校 *市立中学校以外の進学者を含む。(人)

年度 学校名	平成22 (2010)	令和2 (2020)	令和8 (2026)*
第一	245	159	193
第二	211	240	252
第三	301	230	243
鏡が沖	337	279	269
瑞穂	257	189	175
松浜	119	104	101
南	184	81	88
東	339	279	267
第五	93	37	25
北条	73	52	47
西山	132	89	84
計	2,291	1,739	1,744

全国的な少子化の傾向と同じく、この10年間で児童生徒数は大きく減少し、今後も引き続き減少していく見込みです。

2 今後の取り組み（予定）

- 「学区等審議会」の立ち上げを視野に入れながら、教育委員会内に統廃合や学区の見直しを検討するプロジェクトチームを立ち上げます
- 中学校の部活動の拠点化*に引き続き取り組んでいきます

*：学校単位ではなく、複数校の生徒が1つの学校に集まって活動すること。

- 検討した結果を広報かしわざき・市ホームページで、市民の皆さんにお伝えします

